

2006年6月8日

## RIETI-CARF コンファレンス イノベーションを促進する企業形態とファイナンスのメカニズムとは？

イノベーション促進の観点から、既存企業間のジョイントベンチャーや新規起業の重要性に関する認識が高まっています。既存企業にとっては、自社資産を活用してファイナンスを呼び込む流動化や、新規起業の場合は成長ステージごとの戦略およびIPOを含めた出口戦略が極めて重要です。しかし、リスクマネーやリスクキャピタルがどの程度有効に集まるかは、事業形態やファイナンス方式、また、各国のファイナンス市場や法制度の環境等によって異なります。

本コンファレンスは、RIETI(経済産業研究所)とCARF(東京大学金融教育研究センター)の共催により、企業の成長ステージごとの望ましいファイナンス、企業法制等のあり方を他国の事例も踏まえつつ検証し、今後の政策や市場環境の進むべき方向性を探ります。特に日本では情報が手に入りにくい欧州の企業法制などについて欧州からの参加者を招いて紹介し、議論を深めるとともに、ディスクロージャー、パススルー、役員出資、最低資本金などのビークルのあり方も取り上げます。

コンファレンスでは、実務の専門家や研究者を対象にした前日の会議の各セッションでの議論を総括した上で、パネルディスカッションを行います。皆様のご参加をお待ちしております。

**日時・会場:2006年2月28日(火) 13:00-16:50**

東京大学経済学研究科1番教室(文京区本郷7-3-1 経済学研究科棟B1)

**参加費:2000円(報道関係者は無料)**

**言語:日本語⇄英語(同時通訳付)**

### プログラム

- |             |  |
|-------------|--|
| 13:00-13:10 | <b>開会挨拶</b>  |
| 13:10-14:50 | <b>総括セッション「イノベーションを促進する企業形態とファイナンスのメカニズム」</b><br>セッション1「金融と投資:理論的枠組」総括<br>(小林孝雄(RIETI・東京大学)、上田正子(ウィスコンシン大学))<br>セッション2「投資家の視点から:動機の分析」総括<br>(齋藤旬(コロンビア大学テクノロジーセンター)、R. Quek (Allen & Gledhill))<br>セッション3「経営者の視点:イノベーションを促進する要素は何か?」総括<br>(E. Vermeulen (ティルバーグ大学)、L. Goldschmidt (Bank DeGroot))<br>セッション4「国ごとの制度の相違から学ぶべきもの」総括<br>(柳川範之(RIETI・東京大学)、田中亘(成蹊大学)) |
| 15:00-16:40 | <b>パネルディスカッション(パネルチェア:久武昌人(RIETI))</b><br>(柳川範之、田中亘、J. McCahery (ティルバーグ大学)、M. Fox (コロンビア大学)、市川雅一(経済産業省))   |
| 16:40-16:50 | <b>閉会挨拶</b>  |
| 17:00-18:30 | <b>交流会</b>   |

### 【参加申込み・お問合せ】

<http://www.rieti.go.jp/jp/events/06022701/info.html>

RIETI コンファレンス担当 原田、勝野([conf-securitization@rieti.go.jp](mailto:conf-securitization@rieti.go.jp)/Tel:03-3501-8398)

### 【取材等申込み・お問合せ】

RIETI 広報企画 三澤、望月([info@rieti.go.jp](mailto:info@rieti.go.jp)/Tel:03-3501-1375/Fax:03-3501-8416)